

トピックス

日本風景街道 ～日本風景街道大学・ふじのくに静岡校～

平成26年2月14日(金)、15日(土)に静岡県庁と常葉大学水落校舎を会場として、「日本風景街道大学・ふじのくに静岡校」が開催されました。今回の静岡校へは、全国各地から約160人の方々が参加し、活発な議論がなされました。

〈全体テーマ〉

「日本風景街道」に関わる地域の思いと誇りを長く持ち続けられる制度にするために、日本風景街道の自立・充実・飛躍をめざして「心」(人)・「技」(知恵と技術)・「体」(仕組み・制度)について知恵を出し合い、形に表し、提案する。

〈活動の紹介〉

◇主催：日本風景街道大学・ふじのくに静岡校 実行委員会

1日目(会場:静岡県庁)

・「日本風景街道の取り組み紹介」 中部地方整備局 道路部長 上坂克巳

・3つのテーマごとに車座形式で討議

◇「心」人に関わること(人材発掘と育成、思いの継承)

◇「技」拡大・充実の知恵と技術(中間支援、企業連携、日本風景街道ブランドの確立)

◇「体」日本風景街道の制度(コミュニティ・シンクタンク、仕組みと制度、活動費の確保及び支援策)



川勝 静岡県知事による来賓挨拶



上坂 道路部長による日本風景街道活動紹介



テーマ別討議の様子

2日目(会場:常葉大学水落校舎)

・3つのテーマについて各座長からの報告

・2つの個別テーマについてワークショップを実施

◇「日本風景街道のブランドカアップの戦略や他セクターとの連携、資金獲得方法」
～東海道「駿河2峠6宿風景街道」を事例に～

◇「日本風景街道トレイル・ルート等」
～「ぐるり・富士山トレイル」を事例に～

フィールドワーク(東海道「駿河2峠6宿風景街道」 宇津ノ谷峠)

・古代、中世、近代、現代の道が集中。「道の駅エコミュージアム」の拠点でもある宇津ノ谷峠にてフィールドワークを実施。



座長による報告



ワークショップによる議論



フィールドワーク参加者で記念撮影